

布袋駅東複合公共施設について(案)
【導入機能・規模および事業スケジュール】

平成 30 年 1 月

江 南 市

目 次

第1章 導入機能・規模	1
1 保健機能.....	1
(1) 導入機能の考え方.....	1
(2) 導入規模の考え方.....	1
(3) 保健機能の主な役割と整備イメージ.....	1
2 子育て支援機能.....	2
(1) 導入機能の考え方.....	2
(2) 導入規模の考え方.....	2
(3) 子育て支援機能の主な役割と整備イメージ.....	2
3 交流機能.....	3
(1) 導入機能の考え方.....	3
(2) 導入規模の考え方.....	3
(3) 交流機能の主な役割と整備イメージ.....	3
4 図書機能.....	4
(1) 導入機能の考え方.....	4
(2) 導入規模の考え方.....	4
(3) 図書機能の主な役割と整備イメージ.....	4
5 民間施設.....	5
(1) 導入機能等の考え方.....	5
6 導入機能・規模のまとめ.....	5
第2章 今後の進め方	7
1 今後のスケジュール.....	7
2 管理・運営の考え方.....	7

第1章 導入機能・規模

1 保健機能

(1) 導入機能の考え方

現在の保健センターは、昭和54年度に建設され、施設や備品の老朽化が進行しています。このことから、「江南市公共施設等総合管理計画」（平成27年度）では、保健センターの複合化や転用の可能性などについて検討することとしています。

一方、「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」（平成27年度）等、国の政策においては、妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供する「子育て世代のワンストップ拠点」（子育て支援機能+保健機能）の整備が推進されています。

そこで、布袋駅東複合公共施設整備事業（以下、「本事業」という。）では、保健センターを複合公共施設として他機能と一体的に整備することにより、機能集約を図ります。また、「子育て世代のワンストップ拠点」を構成する中心施設として、後述する子育て支援機能との相乗効果を生みだします。「保健」「子育て」といった複数の公的サービスが効率的かつ効果的に提供できる場として整備し、市民が安心・安全に生活できる環境づくりに貢献します。

(2) 導入規模の考え方

導入規模は、基本的には現状（約1,500㎡）を維持しつつ、機能集約によって公共施設の総延床面積の縮減を図ります。具体的には、エントランスホールや倉庫などを共用とすることで省スペース化を図り、本機能の導入規模は約1,270㎡とします。

(3) 保健機能の主な役割と整備イメージ

以上を踏まえ、保健機能の主な役割と整備イメージを以下に示します。

本事業にて導入する「保健機能」の主な役割

- 市民の健康の保持・増進に関連する様々なサービス（健康管理、食生活改善、健康推進、母子健康管理等）を提供する
- 「保健」「子育て」が連続性を持つ、効率的・効果的なサービスを提供する。



桑名市中央保健センター 歯科検診室
（「くわなメディアライヴ」、三重県桑名市）



山形市保健センター ヘルシーキッチンルーム
（「霞城セントラル」、山形県山形市）

図1 複合公共施設における保健機能の整備イメージ

2 子育て支援機能

(1) 導入機能の考え方

現在、子育て支援センター・ファミリーサポートセンターは、児童館で最も老朽化の進行した施設である交通児童遊園の2階を拠点とし、子育て関連事業を実施しています。

「子育て支援の充実」・「保育サービスの充実」に対する市民の意向が高いことから、子育て支援に対する市民ニーズは高いとされています。また、両センターの方向性について、「江南市子ども・子育て支援事業計画」（平成26年度）では、「利用しやすい運営」や「事業の拡充」に努めることが示されています。

本事業では、両センターを「子育て世代のワンストップ拠点」を構成する施設として移転・整備し、通勤等で駅を利用する保護者や、複合化する他施設の利用者が気軽に立ち寄り、利用できるような開放的な施設とします。また、保健機能等との連続的な利用を促す施設構造や運営にするなど、機能間の連携を強化します。

子育てに関する相談事業の活動場所や子どもの一時預かり事業の事務所機能といった現機能に加え、駅前立地や複合施設の多機能性を活かし、子育て世代の交流促進による賑わいの創出を図ります。

(2) 導入規模の考え方

現状（約80㎡）の子育て支援センター・ファミリーサポートセンターは、利用者数に対して規模が小さく、乳幼児が遊ぶスペースや親子が交流できるスペースが十分確保できていません。このことから、導入規模は現状よりやや拡大させるものとし、約110㎡とします。

(3) 子育て支援機能の主な役割と整備イメージ

以上を踏まえ、子育て支援機能の主な役割と整備イメージを以下に示します。

本事業にて導入する「子育て支援機能」の主な役割

- 子育て中の家庭が悩みや不安を解消するための、情報提供・助言等のサービスを提供する
- 子どもの一時預かり事業の事務所として機能する
- 飲食可能なスペースを確保し、子育て世代（親子）の交流を促進する
- 若い世代・子どもの誘導による賑わいを創出する



中央子育て支援センター（「尾張一宮駅前ビル」、愛知県一宮市）

図2 複合公共施設における子育て支援機能の整備イメージ

3 交流機能

(1) 導入機能の考え方

事業対象地周辺には現在、地域の人々が集い、様々なコミュニティ活動・交流活動や情報交換を行うことができる場所が不足しており、整備が求められています。

そこで、本事業では、地域の人たちが気軽に集い、コミュニティ活動を行ったり、交流を深められる場所を提供するため、交流機能を新たに整備します。

本施設の核となる「子育て世代のワンストップ拠点」の主な利用者である子育て世代だけでなく、学生や中高年等も含めた多世代の来客を誘導することで、賑わい・交流を創出できるような施設として整備します。

(2) 導入規模の考え方

生涯学習やサークル活動のほか、地域コミュニティ活動、イベントなど多目的な用途で、複数の団体が同時に利用できる規模を確保することを想定し、本機能の導入規模は約 220 m²とします。

(3) 交流機能の主な役割と整備イメージ

以上を踏まえ、交流機能の主な役割と整備イメージを以下に示します。

本事業にて導入する「交流機能」の主な役割

- ▶ 地域の人たちなどが気軽に集い、交流を深める場や情報交換・発信を行う場として機能する
- ▶ 地域コミュニティ活動を促進する
- ▶ 子育て世代だけでなく、多世代の来客をもたらし、賑わい・交流を創出する



市民活動情報コーナー（「武蔵野プレイス」、東京都武蔵野市）

図 3 複合公共施設における交流機能の整備イメージ

4 図書機能

(1) 導入機能の考え方

「(参考資料) 布袋駅東複合公共施設整備の前提条件」の整備コンセプト・整備目標に掲げるとおり、本施設を賑わいや交流の拠点とするためには、駅利用者や施設利用者が「短時間立ち寄る」だけでなく、「一定の時間滞在できる」「留まれる」施設である必要があります。特に、本複合公共施設において核となるのは「子育て世代のワンストップ拠点」であることから、乳幼児の親子連れが安心して時間を過ごせるスペースが望まれます。

以上を踏まえ、本事業では、図書機能を新たに整備します。親子連れを想定した絵本・児童書コーナーの充実を図るとともに、多世代にわたる利用者が読書や学習をできる場の提供のほか、図書の貸出しを行います。

また、開放感のある図書空間とすることで、子育て支援センターや保健センターを目的として訪れた人々を多く誘導し、楽しく学べる機会・場所を提供できるようなスペースとします。

(2) 導入規模の考え方

図書スペースの導入規模は、多世代にわたる利用者ニーズを踏まえ、約 280 ㎡とします。

(3) 図書機能の主な役割と整備イメージ

以上を踏まえ、図書機能の主な役割と整備イメージを以下に示します。

本事業にて導入する「図書機能」の主な役割

- 子育て支援センターや保健センターを利用する親子連れを多く誘導し、楽しく学べる機会・場所を提供する
- 読書や勉強などで滞在しやすいスペースを提供する
- 多様な施設利用者を見据えた図書の貸出しを行う



小牧市立えほん図書館（「ラピオ」、愛知県小牧市）

図 4 複合公共施設における図書機能の整備イメージ

5 民間施設

(1) 導入機能等の考え方

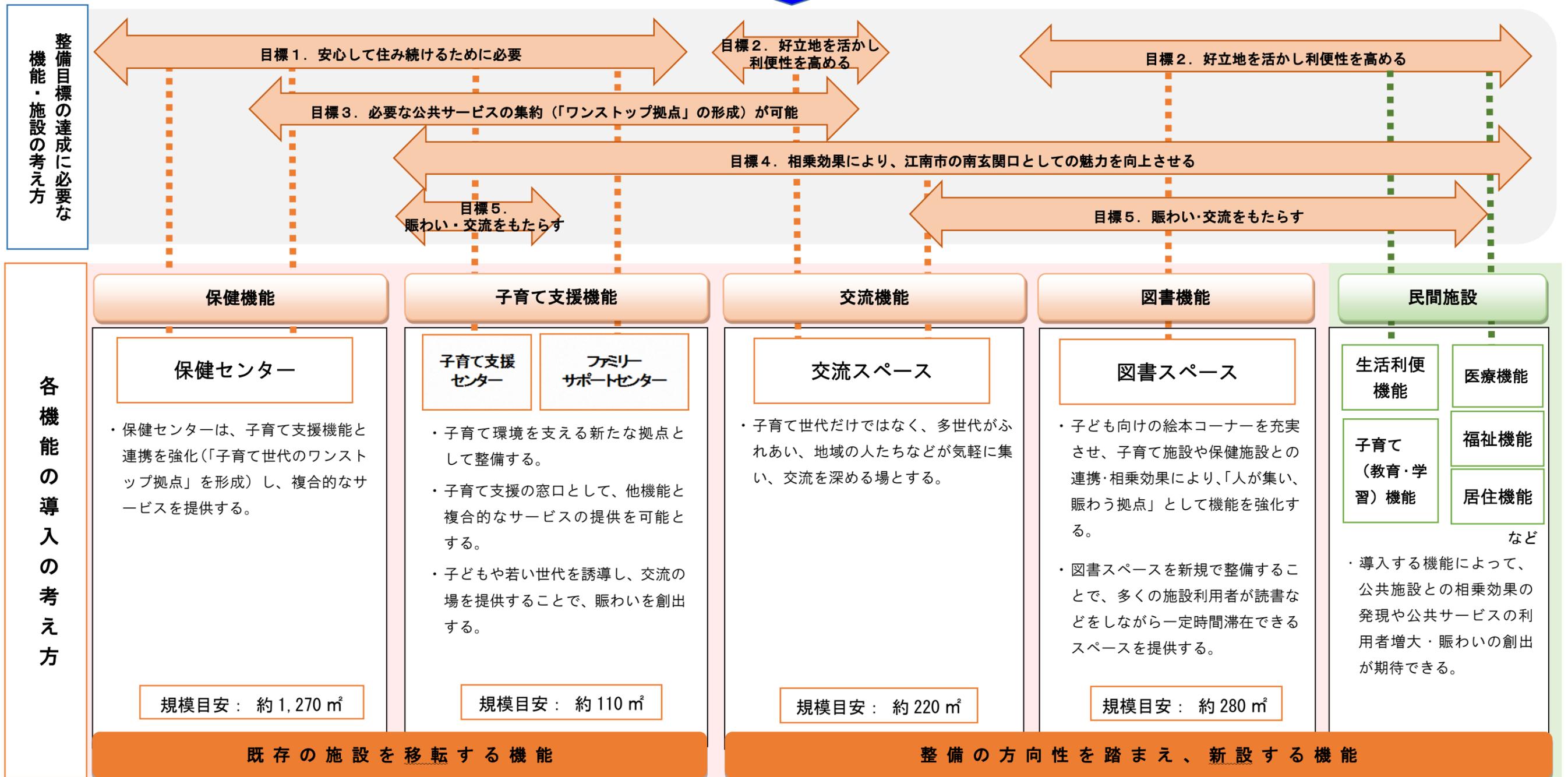
「(参考資料) 布袋駅東複合公共施設整備の前提条件」に掲げるとおり、本事業では、民間施設の併設により、賑わい・交流をもたらす拠点性の強い施設とすることを目指しています。そこで、民間施設については、民間事業者の提案を踏まえ、生活利便機能、子育て(教育・学習)機能、医療機能、福祉機能、居住機能など、複合公共施設の立地特性等を活かした機能の導入により、公共施設との相乗効果の発現や公共サービスの利用者増大・賑わいの創出を図ります。具体的な導入機能及び導入規模等については、今後、民間事業者からの幅広い提案を受け付けることとします。

6 導入機能・規模のまとめ

「(参考資料) 布袋駅東複合公共施設整備の前提条件」に示す「布袋駅東複合公共施設整備のコンセプトと整備目標」を踏まえ、導入機能・規模の考え方を整理すると、次ページのとおりになります。

江南市の南玄関口にふさわしい、安心して住み続けられるまちの交流施設

- 目標1 周辺地域の市民の生活を支え、安心して住み続けるために必要な施設を整備する。
- 目標2 駅前の好立地を活かし、市民の利便性が高く、利用者数（来客数）が望める施設とする。
- 目標3 必要な公共サービスを集約し、効率的・効果的な複合サービスを提供する施設とする。
- 目標4 江南市の南玄関口としての魅力向上のため、複数の導入機能の相乗効果が期待できる施設とする。
- 目標5 民間施設を併設し、賑わい・交流をもたらす拠点性の強い施設とする。



第2章 今後の進め方

1 今後のスケジュール

本事業は、平成33年度中の施設供用開始を目指し、平成30年度より事業者募集・選定を行う予定です。

表1 事業スケジュール

	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
事業者募集・選定				
設計・建設の実施				

2 管理・運営の考え方

本施設は、利用者が気軽に立ち寄れる複合公共施設として、併設される民間施設と一体となった、効果的・効率的な運営に努めます。また、民間事業者の経営ノウハウを最大限に活用し、施設管理経費の縮減が図られるような管理形態の構築を目指します。

